

科目区分	専門教育科目	科目名	保育と音楽表現		科目コード	17Y340	担当者	白石 景一、中村 浩美			
対象学生	幼児教育学科2年生	学期区分	通年	単位数	2	卒業要件	選択				
						免許・資格要件	幼稚園教諭必修、保育士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中◎、小△）					
音楽の幅広い感性・知識・技能を育成し、音楽を通じて保育を实践する上で、音楽の理解・知識・技術を持って保育の様々な場面で適切に展開できる素養を身につける。						1. 「 尽心 」 誠実な人柄と人間力		2. 「 創造 」 高度な知性と創造力		3. 「 実践 」 明確な意思と実践力	
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考・創造断力	⑤ 実行体力性・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	ピアノの基礎技能を習得し、保育現場での「生活の歌」の弾き歌いを音楽的に表現できる。					◎	◎	◎	◎	◎	○
2.	「季節の歌」や様々な「子どもの歌」の伴奏や弾き歌いを子どもが歌いやすいよう配慮して演奏できる。										
3.	笑顔で子どもにわかりやすく手遊び歌ができる。										
4.	ピアノ連弾を体験し、アンサンブルの基礎を学ぶ。										
5.	表情豊かに明るく楽しく歌うことができる。										
授業方法						成績評価の方法と割合					
ピアノによる個人レッスンとグループ指導により展開する。したがって各自の教則本および各自の進度により授業内容は異なる。以下に示す数字は授業回数ではなく、ある程度の段階・項目・内容でありこのような項目・内容を30回の授業の中で継続的に習熟するよう努める。						定期試験（40%） 受講態度（40%） 提出物（20%）					
準備学修						課題等への対応					
一週間の練習の成果を基に成立する実技科目である。レッスンでの課題などを毎日1時間以上練習し、その結果を基に次のレッスンに望み、確認修正する。						レッスン記録を基に各自の習熟度に沿った指導を行う。					
授業計画											
第1回	子どもの歌と伴奏法の引き継ぎ 春休みの課題成果の確認				第16回	簡易伴奏（コード奏法など）での子どもの歌弾き歌い 各自のエチュード 子どもの歌					
第2回	各自のエチュード 子どもの歌、各自のエチュード				第17回	簡易伴奏（コード奏法など）での子どもの歌弾き歌い 各自のエチュード 子どもの歌					
第3回	各自のエチュード 子どもの歌、各自のエチュード				第18回	簡易伴奏（コード奏法など）での子どもの歌弾き歌い 各自のエチュード 子どもの歌					
第4回	各自のエチュード 子どもの歌				第19回	簡易伴奏（コード奏法など）での子どもの歌弾き歌い 各自のエチュード 子どもの歌					
第5回	各自のエチュード 子どもの歌				第20回	各自のエチュード いろいろな子どもの歌					
第6回	各自のエチュード 子どもの歌				第21回	各自のエチュード いろいろな子どもの歌					
第7回	各自のエチュード 子どもの歌				第22回	各自のエチュード いろいろな子どもの歌					
第8回	各自のエチュード 子どもの歌				第23回	各自のエチュード いろいろな子どもの歌					
第9回	各自のエチュード 子どもの歌				第24回	各自のエチュード いろいろな子どもの歌					
第10回	各自のエチュード 子どもの歌				第25回	各自のエチュード いろいろな子どもの歌					
第11回	各自のエチュード 子どもの歌				第26回	各自のエチュード いろいろな子どもの歌					
第12回	各自のエチュード 子どもの歌				第27回	各自のエチュード いろいろな子どもの歌					
第13回	各自のエチュード 子どもの歌				第28回	各自のエチュード いろいろな子どもの歌					
第14回	各自のエチュード 子どもの歌				第29回	かくじのエチュード いろいろな子どもの歌					
第15回	各自のエチュード 子どもの歌				第30回	各自のエチュード・弾き歌い・伴奏法のまとめ					
教科書・参考書						受講生へのメッセージ					
教科書： 「こどものうた200」（チャイルド本社）小林美実編 「続こどもの歌200」（チャイルド本社）小林美実編 参考書（教則本）： ツェルニー、ソナチネアルバム、 ソナタアルバム 他						※実技科目であるので、一週間の練習の成果を基に成立する。 ※レッスンには筆記用具（鉛筆）各自の「レッスン記録」を持参すること ※第一回目の授業には現在使用中の各自のエチュードと「子どもの歌と伴奏法」受講のレッスン記録を持参すること ※第一回目のレッスンは2階の音楽室に集合すること ※ピアノ室の使用は遵守事項を守り美化に努めること					